

太平洋新国土軸構想推進協議会 P R 誌



虹の向こうに

(第20号)

お知らせ

機関誌「虹の向こうに」はPDF版で発行しています。引き続きのご愛読をお願いいたします。

目次

1. 太平洋新国土軸構想推進協議会の活動状況（平成21年度）
2. 平成21年度研究会の概要について
<http://www.t-kokudojiku.jp/info/no20/kouenkai.pdf>
3. 「国土形成計画」について
<http://www.t-kokudojiku.jp/info/no20/keikaku.html>

太平洋新国土軸構想推進協議会の活動状況（平成21年度）

当協議会の平成21年度の活動状況は以下のとおりです。

1 会議の開催

- (1) 総会 議決 平成21年 6月18日（書面）
- (2) 幹事会 第1回 平成21年 5月19日（書面）
第2回 平成21年11月10日（大阪市）
※概要は <http://www.t-kokudojiku.jp/info/no20/kanjikai.pdf>

2 要望活動

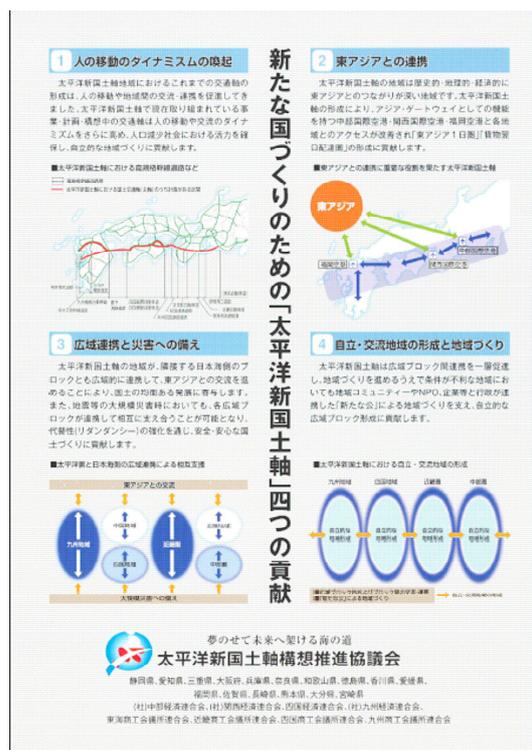
次のとおり要望活動を実施しました。
日時：平成21年7月13日
要望先：国土交通省、関係国会議員



第2回幹事会の様子

3 広報活動

パンフレット改定版の発行
パンフレット「太平洋新国土軸の創造に向けて」の改定版を発行しました。



新しい国土像の実現には「太平洋新国土軸」が不可欠です。

1 太平洋新国土軸構想の目標

太平洋新国土軸構想は西日本国土に代表される内海を中心とした20世紀型の国土利用から、外海に開かれ環境と歴史が調和した21世紀型の国土利用への転換を先導し、国内のみならずアジアや太平洋地域とも交流・連携する「外洋性の新たな国土軸」の創成を図るものです。

このことにより、

- ① 東洋から伊予半島、四国、九州を経て中国に至る地域に「国際性」による地域のつながりと森林、河川、海岸線の豊かな自然条件を生かして
- ② 国土のネットワークと自然のネットワークが有機的に共生する「多自然居住地域」を創成し
- ③ 西日本における広域経済文化圏を創成すること
- ④ アジア・太平洋地域との経済・文化交流を促進して
- ⑤ 活力ある新国土像を構築すること

を目標とします。

また、この構想の推進は、国土軸を支える交通・情報通信基盤等の整備を通じて災害時の備えにも役立つものです。

2 太平洋新国土軸の地域

太平洋新国土軸は、中部、近畿、四国、九州、沖縄にまたがり、その主軸は東海(遠州、三河、名古屋、伊勢、志摩)から紀伊半島、淡路、四国、九州中部(熊本、大分)を経て九州西部(長崎、天草)まで東西約800kmに及びます。

本協議会は、中部、近畿、四国、九州の4ブロックの16府県、8経済圏で構成され、地域の視点から将来構想の策定・PRを行っています。

3 新しい国土像実現のために

これまでの取り組み

太平洋新国土軸の地域では、これまでハード・ソフト両面にわたる様々な取り組みが行われてきました。太平洋新国土軸はこれらの社会資本ストックを結びつけ、国土形成計画がめざす新しい国土像実現のために大きく貢献します。

これからの国づくりのために

国土形成計画は多様な広域ブロックが自立的に発展する国土を構築するとともに、美しく、暮らしやすい国土を形成することをめざしています。そのためには多種多様な特色を持つこれらのブロックが相互に交流・連携し、その相乗効果によって活力ある国土を形成していくことが必要です。このような広域ブロックをつくる役割を果たすのが太平洋新国土軸です。



4 海峡を超えた交流の推進

太平洋新国土軸の創成を推進するための重要戦略のひとつとして、海峡により分断されている地域を現状に連携し、複数の国土軸、地域連携軸を重層的に結びつける「海峡交流圏」の創成を推進していきます。

また、アジア・太平洋地域における平和交流をはじめとする多元的交流と国際的な異文化理解の創出を図る「パシフィック・クロスロード」と位置づけられた海峡との連携を強化し、東アジアのみならずアジア・太平洋地域全体において多角的な国際交流を展開していきます。

環伊勢湾交流圏

加工組立産業、地場・伝統産業の集積を生かして、世界をリードする産業技術と多様な文化、自然環境が融合した国際的な交流・創造拠点を目指します。

紀淡海峡交流圏

歴史的な書籍と関西化学術研究都市等の情報発信機能を活かし、世界に開かれた経済・文化・学術研究の交流・創造拠点を目指します。

豊予海峡交流圏

多様な産業の集積を生かして、東アジアに向けた国際性と中国、四国、九州のブロックを超える広域性を兼ね備えた多様な交流・創造拠点を目指します。

有明交流圏

多様な産業の集積と東アジアへの近接性を生かして、古くから交流の深い東アジアに開かれた国際的な経済・文化の交流・創造拠点を目指します。

5 三つの海峡横断プロジェクト

豊予海峡ルート

豊予海峡ルートは愛媛県佐田半島と大分県佐賀原半島を隔てる約14kmの豊予海峡を架橋や海底トンネルで結ぼうとする構想です。このルートが結ばれると、高瀬戸地域の環状交通体系が形成されることとなり、中国、四国、九州が連携して連携する広域経済文化圏が構築されます。

紀淡海峡ルート

紀淡海峡ルートは和歌山県と兵庫県洲本市を隔てる約11kmの紀淡海峡を架橋や海底トンネルで結ぼうとする構想です。このルートは大瀬環境交通体系の要となるルートでもあり、構想の実現により近畿と四国の経済・文化の交流がますます活発になります。

伊勢湾口道路

伊勢湾口道路は愛知県津美半島から三重県志摩半島を隔てる約20kmの伊勢湾口を架橋で連絡することにより静岡県西濱地域から三重県志摩半島に至る約90kmを高規格の道路で結ぼうとする構想です。この構想の実現により地域の産業・経済の活性化はもとより、中部圏全体の高速交通ネットワークが図られます。

4 研究活動

次のとおり講師をお招きし、講演会を実施しました。

日時：平成21年11月10日(火) 13:00~
 場所：大分市北区梅田2-4-9 ブリーゼタワー8階
 演題：「太平洋国土軸をどう進めるか」
 講師：中京大学総合政策学部教授(国土審議会特別委員)
 奥野信宏氏

5 機関誌(PR誌)の発行

「虹の向こうに」第20号を発行しました。



**ゆめのせて
未来へ架ける
海の道**

PRホームページ
「ほほえみの道しるべ」
<http://t-kokudojiku.jp/>

太平洋新国土軸の実現に向けて、私たちは一体となって取り組みます。

太平洋新国土軸構想推進協議会

静岡県、愛知県、三重県、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県、香川県、
愛媛県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
(社) 中部経済連合会、(社) 関西経済連合会、四国経済連合会、(社) 九州経済連合会、
東海商工会議所連合会、近畿商工会議所連合会、四国商工会議所連合会、
九州商工会議所連合会

太平洋新国土軸構想推進協議会事務局

大分県企画振興部総合交通対策課
〒 870 - 8501 大分市大手町 3 丁目 1 番 1 号
TEL:097-506-2153 FAX:097-506-1731